

# 「明石市人口ビジョン」のイメージ

## 国の長期ビジョン

(平成 26 年 12 月 27 日策定)

### I. 人口問題に対する基本認識

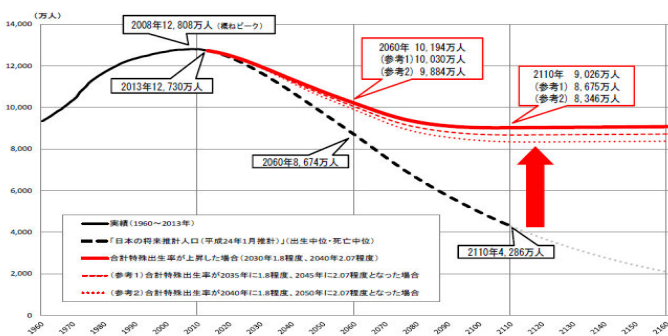
- 1) 「人口減少時代」の到来 (2008 年以降)
  - ・人口減少は今後加速的に進む
- 2) 人口減少により経済社会に悪影響
  - ・特に、地方の地域経済社会の維持が困難
- 3) 東京圏への人口集中
  - ・東京圏への過度の人口集中が、日本全体の人口減少の誘因となる

### II. 今後の取組みの基本的視点

- ① 「東京一極集中」を是正する
- ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③ 地域の特性に即した地域課題の解決

### III. 目指すべき将来の方向

- 「活力ある日本社会」の維持のために
- 人口減少に歯止めをかけ、2060 年に 1 億人程度の人口を確保



- 若い世代の希望が実現すると、出生率は 1.8 程度に向上
  - ※2020 年に 1.6 程度
  - 2030 年に 1.8 程度
  - 2040 年に 2.07 が達成されると想定

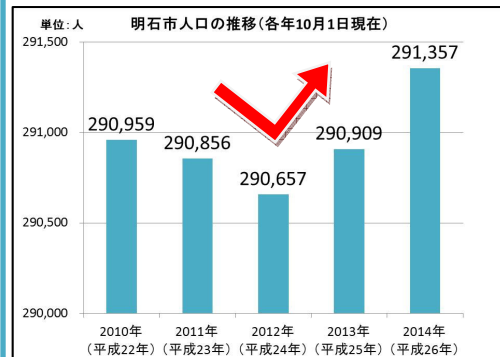
- 「人口の安定化」と「生産性の向上」が実現するならば、2050 年代の実質 GDP 成長率は、1.5~2%程度の維持が可能

## 「明石市人口ビジョン」素案 (計画期間 2015 年~2060 年)

### ■ 人口の現状

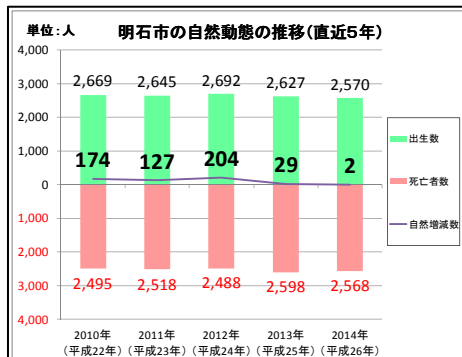
#### 総人口の推移

- ・2013 (平成 25) 年から 2 年連続で増加傾向
- ※2015 (平成 27) 年も増加傾向



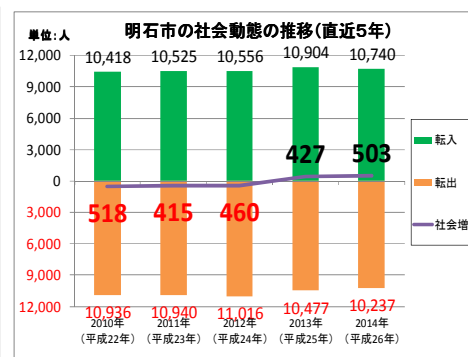
#### 自然動態の推移

- ・今後自然減となる可能性が高い
- 2014 年：自然動態 2 (出生数 2,570 死亡者数 2,568)



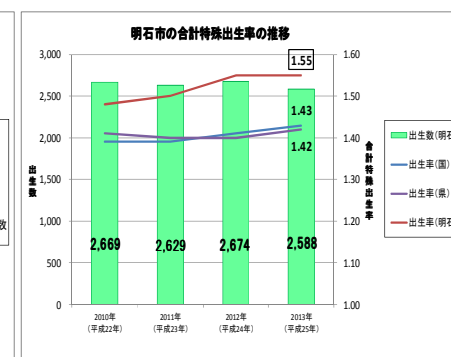
#### 社会動態の推移

- ・2013 (平成 25) 年から 転入超過へ
- 2014 年：社会動態 503 (転入 10,740 転出 10,237)



#### 合計特殊出生率の推移

- ・国や県に比べて上回って推移
- ・出生数については減少傾向
- 2013 年：明石市 1.55 (国 1.43 県 1.42)



### ■ 将来の方向性・人口の将来展望

#### 明石市における将来の方向性

##### 【短期】

- ① 有効な既存施策の方向性を踏まえた取り組みの継続
  - ・こどもに重点を置いた施策の推進や安全安心に暮らせる環境作りなど、有効な既存施策の方向性を踏まえた取り組みを継続する。

##### ② 2020 (平成 32) 年度の目標人口として、概ね 29 万人を維持

- ・本市は、2011 (平成 23) 年に策定した「明石市第 5 次長期総合計画」において、2020 (平成 32) 年度の目標人口を概ね 29 万人を維持すると掲げており、これを短期の目標とする。

##### 【中長期】

##### ③ 人口減少を抑制するため、自然増・社会増の取り組みを実施

- ・国や県の将来推計からも将来の人口減少は避けがたいが、少子化に歯止めをかけるため、若い世代の結婚・出産・子育て環境の充実を図り、出生数を維持する。
- ・首都圏などへの人口流出に歯止めをかけ、本市への新しい人の流れを作るため、転入・定住を促進する取り組みを実施する。

#### 明石市の将来人口の展望

- ① 2015 (平成 27) 年の人口を 2010 (平成 22) 年国勢調査人口による推計に基づく 2015 年 8 月 1 日現在の 291,928 人に転入キャンペーンを加えて設定する。
- ② 合計特殊出生率は、これまでの国との実績値の差を踏まえて、国の長期ビジョン設定値に +0.3 を上乗せし、2030 年までに 2.07 に上昇する。
- ③ 社会動態は、近年における子育て世帯 (20~39 歳) の転入超過の傾向がみられるため、今後 5 年間は毎年 600 人の転入増とし、2020 (平成 32) 年に長期総合計画の目標人口である概ね 29 万人を維持するとともに、それ以降は転入・転出数は均衡して推移するものとする。

